

Saramonic

2.4 GHz デュアルチャネルワ イヤレスマイクシステム

Saramonic Air

取扱説明書

はじめに

ご使用前に本マニュアルをよくお読みいただき、記載の手順に従って操作・保管してください。説明書は将来の参考のために大切に保管してください。本マニュアルで解決できない問題が発生した場合は、販売店にご相談いただくか、以下のメールアドレスまでご連絡ください：support@saramonic.com

ご注意事項

1. 本体を分解しないでください。
2. ヒーター、スポットライトなど熱を発生する機器の近くに置かないでください。
3. 電池は自己交換できません。
4. 柔らかい乾いた布で本体を清掃してください。
5. 使用時・保管時はほこりや湿気に注意してください。
6. 最適な集音効果を得るため、マイクヘッドに手を触れないでください。

概要

Saramonic Air は 2.4GHz 帯域を使用するワイヤレスマイクシステムで、高品質な音声収録を可能にします。トランスミッターにはφ9.7mm ラペルマイクが付属し、クリアで精密な音声品質を保証します。レシーバーは高精細カラーディスプレイを搭載し、全パラメータの監視・操作を容易に行えます。コンパクトで携帯性に優れた充電ケースはバッテリー残量をリアルタイム表示し、長時間使用を可能にします。Saramonic Air はコンテンツ制作・ライブ配信・Vlogging・モバイルジャーナリズムなど幅広い用途に最適です。

特徴

- ・ 9.7mm 専用 lav マイク対応、繊細な音質を保持
- ・ 業界トップクラスの 90 dB の優れた S/N 比により、スタジオクオリティのクリアな音声を確保
- ・ 1.05 インチカラースクリーンでリアルタイムでモニタリング可能
- ・ リミッター & セーフティトラックでクリッピング防止
- ・ 2 段階のノイズリダクション & 3 種類の EQ モード調節
- ・ 各種デバイスに対応できる互換性のあるホットシュー

同梱品

Saramonic Air-01

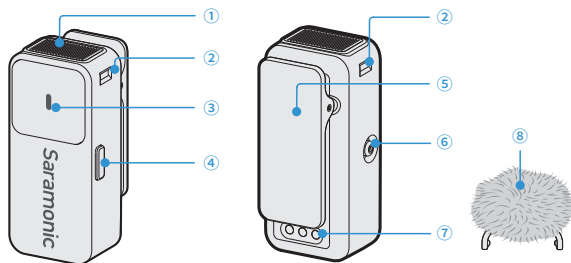
トランスミッター × 2
レシーバー × 1
充電ケース × 1
3.5mm TRS-TRS ケーブル × 1
USB-C - USB-A データケーブル × 1
USB-C アダプター × 1
ウィンドスクリーン × 2
磁石 × 2
レシーバー用ベルトクリップ × 1
キャリングバッグ × 1
シリコン製プラグ × 1

Saramonic Air-02

トランスミッター × 2
レシーバー × 1
充電ケース × 1
3.5mm TRS-TRS ケーブル × 1
USB-C - USB-A データケーブル × 1
USB-C アダプター × 1
ウィンドスクリーン × 2
磁石 × 2
レシーバー用ベルトクリップ × 1
ラベルマイク (1.2m) × 2
キャリングバッグ × 1
シリコン製プラグ × 1

製品構成

トランスミッター (Saramonic Air-TX)



① 内蔵マイク

② ウィンドスクリーン取付穴

付属のウィンドスクリーンを取り付け、風切り音を低減し音質を向上させます。

③ ステータスインジケータ

状態	表示
ペアリング未接続	青色ゆっくり点滅
ペアリング中	青色早く点滅
ペアリング完了	青色点灯
ミュート中	赤色ゆっくり点滅
ノイズキャンセル有効	緑色点灯
録音開始	青色 2 回早く点滅
バッテリー残量不足	赤色点滅
充電中 (電源オフ時)	赤色点灯
充電完了	青色点灯

・ レシーバーとペアリングされていない場合、トランスミッターのインジケータは 10 分間青色をゆっくり点滅します。10 分以内にペアリングが成立しない場合、トランスミッターは自動的に電源が切れます。

・インジケーターが赤く早く点滅したらトランスミッターを充電してください。5 分後に自動的に電源が切れます。

④ 電源ボタン

- ・2 秒間長押し：電源オン / オフ。
- ・5 秒間長押し：電源オフ状態でペアリングモードに入る。
- ・1 回押す：マイクミュート / 解除。
- ・2 回押す：レシーバーがスマートフォンに接続中かつトランスミッターとペアリング時に動画撮影開始 / 停止。注意：本機能は音量ボタンがカメラシャッターとして機能するスマートフォンでのみ対応。
- ・17 秒間長押し：電源オン時にトランスミッターを強制再起動。

⑤ 磁性クリップ

トランスミッターは磁性クリップまたは磁石で衣類に確実に固定でき、簡単に装着できます。

⑥ マイク入力ポート

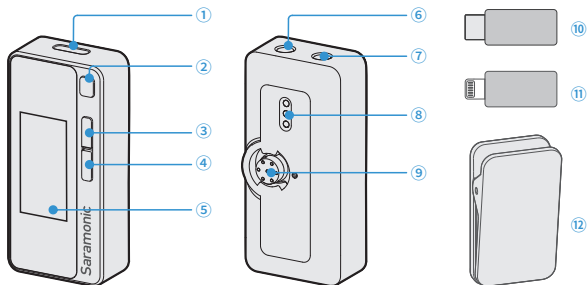
当社専用ラベルマイクを接続し、高品質音声を収集するために設計されています。

⑦ 充電接点

トランスミッターの充電接点が充電ケースの充電ピンに接触すると、充電が開始されます。

⑧ ウィンドスクリーン

レシーバー (Saramonic Air-RX)



① USB-C 充電ポート

レシーバーがモバイルデバイスに接続されている場合、本ポートに充電ケーブルを接続することでモバイルデバイスとレシーバーの両方を充電可能です。

② 電源ボタン

- ・ 2 秒間長押し: 電源オン/オフ。
- ・ ディスプレイがホーム画面の状態では電源ボタンを 1 回押すと、トランスミッター 1 (TX1)、トランスミッター 2 (TX2)、レシーバーの音量調整オプションを切り替えられます。
- ・ ディスプレイがメニュー画面の状態では電源ボタンを 1 回押すと、ホーム画面に戻ります。
- ・ 電源オン時に電源ボタンを 17 秒間長押しすると、レシーバーを強制再起動します。

③ メニューボタン

- ・ 画面がホームスクリーン表示中で、かつ電源ボタンを押してトランスミッター 1 (TX1)、トランスミッター 2 (TX2)、またはレシーバー (RX) のボリューム調整オプションを選択した状態で、メニューボタンを 1 回押すことで、該当デバイスのボリュームを上げます。
- ・ ディスプレイがホーム画面の状態ではメニューボタンを 2 秒間長押しすると、トランスミッター 2 (TX2) のマイクを即時ミュートします。
- ・ ディスプレイがホーム画面の状態ではメニューボタンを 1 回押すと、メニューオプション設定画面に入ります。
- ・ ディスプレイがメニュー画面の状態ではメニューボタンを押すとメニューオプションを下位に移動し、2 秒間長押しするとメニューオプションを選択します。

④ ノイズキャンセルボタン

- ・ディスプレイがホーム画面の状態ではノイズキャンセルボタンを1回押すと、「強」「弱」「オフ」のノイズキャンセルモードを順番に切り替えることができます。
- ・画面がホームスクリーン表示中で、かつ電源ボタンを押してトランスミッター1 (TX1)、トランスミッター2 (TX2)、またはレシーバー (RX) のボリューム調整オプションを選択した状態で、ノイズキャンセレーションボタンを1回押すことで、該当デバイスのボリュームを下げます。
- ・ホーム画面でノイズキャンセルボタンを2秒間長押しすると、トランスミッター1 (TX1) を即時ミュートします。
- ・メニュー画面でノイズキャンセルボタンを1回押すと、メニューオプションを上位に移動します。

⑤ ディスプレイ画面

トランスミッター1 (TX1)、トランスミッター2 (TX2)、レシーバー (RX) のリアルタイム録音音量・ミュート状態・バッテリー状態・ノイズキャンセル情報・入力音量・出力音量等の関連情報を表示します。

⑥ 3.5mm TRS オーディオ出力

カメラやその他モバイルデバイスへ音声を入力するために使用します。

⑦ 3.5mm モニターポート

3.5mm TRS ヘッドホンを接続し、トランスミッターの音声をリアルタイムで監視できます。スピーカーがオフ時は、モバイルデバイスの再生音声を本ポートで監視可能です。
注意:iOS デバイス (iPhone/iPad 等) での録音時、デバイスの音量調整はレシーバーの監視音量にも連動して変化します。

⑧ 充電接点

レシーバーの充電接点が充電ケースの充電ピンに接触すると、充電が開始されます。

⑨ 接続用端子

- ・付属 USB-C アダプターまたは別売 Lightning アダプターを使用し、レシーバーをスマートフォン・タブレット・PC 等に接続します。
- ・付属のレシーバー用ベルトクリップを取り付け、冷蔵シュー (コールドシュー) へマウント可能です。
- ・別売カメラアダプター使用時、レシーバーをカメラのホットシューに接続できます。

⑩ USB-C アダプター

USB-C ポート搭載スマートフォン・タブレット・PC等のモバイルデバイスに接続可能です。

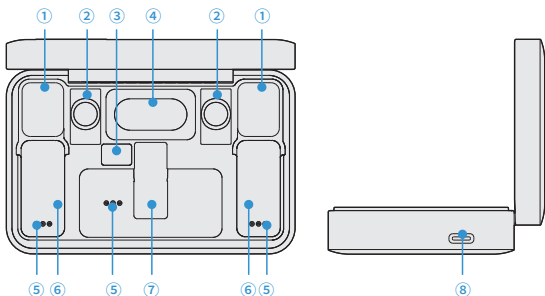
⑪ Lightning アダプター (別売品)

Lightning ポート搭載スマートフォン・タブレット等のモバイルデバイスに接続可能です。

⑫ レシーバー用ベルトクリップ

レシーバーの接続ポイントに取り付け、カメラの冷蔵シュー (コールドシュー) ヘマウント可能です。

ケース (Saramonic Air-CC)



① 防風ウィンドスクリーン収納スロット

② アダプター収納スロット

③ バッテリー残量インジケーター

・充電ケースが電源に接続されていない状態で、トランスミッターおよびレシーバーを充電のためケース内に収めた場合、バッテリーレベルインジケーターは充電ケース本体の残存バッテリー残量をリアルタイムで表示します。

・USB-C からUSB-A のデータケーブルでケースを充電中の場合、バッテリーレベルインジケーターは緑色の稲妻アイコンを表示します。これは充電中であることを示しています。

注意: 充電ケースの残量が 10% 以下になるとトランスミッター/レシーバーの充電ができません。

④ レシーバー用ベルトクリップ収納スロット

⑤ 充電ピン

⑥ トランスミッター収納スロット

⑦ レシーバー収納スロット

注意:省電力のため、トランスミッター/レシーバーのインジケータおよびディスプレイ画面は充電ケース収納後 1 分以内に自動消灯します。

⑧ USB-C 充電ポート

USB-C - USB-A データケーブル経由で充電ケースを充電します。

操作ガイド

トランスミッターとレシーバーのペアリング

1. 充電ケースから取り出すと自動的にトランスミッター/レシーバーの電源が入ります。

2. トランスミッター/レシーバーは出荷前ペアリング済みです。

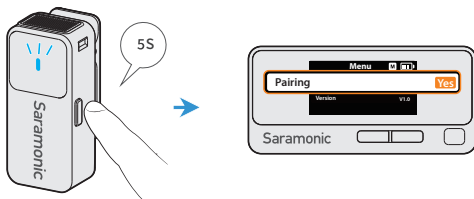
そのため電源投入後自動的にペアリングが行われます。ペアリング成功時、トランスミッターのインジケータが青色点灯します。

接続が切れた場合は下記手順を実行してください:

① 電源オフ状態でトランスミッターの電源ボタンを 5 秒間長押しし、インジケータが青色で早く点滅するまで保持するとペアリングモードに入ります。

② レシーバーの電源ボタンを 2 秒間長押しして電源を入れます。続いてレシーバーのディスプレイ画面でペアリングメニューを選択し、「Pairing」をクリックします。

③ トランスミッターのインジケータが青色で点灯すると、トランスミッターとレシーバーのペアリングが成功したことを示します。

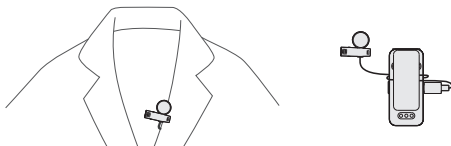


トランスミッターの設置

1. 屋外や風の強い環境で使用する際は、防風ウィンドスクリーンをトランスミッターに取り付けてください。



2. ラペルマイクを使用する場合は、トランスミッターのマイク入力ポートに接続してください。マイクの意図しない外れを防ぐため、装着前にトランスミッターの磁性クリップにケーブルを巻き付けることを推奨します。

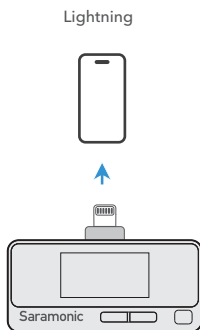
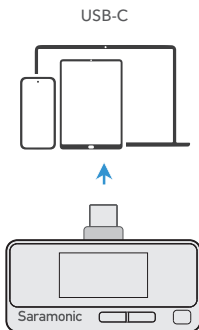
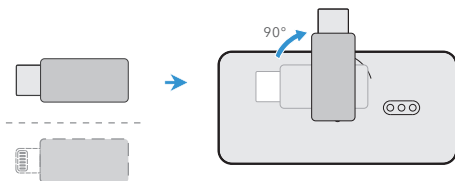


3. トランスミッターは磁性クリップで直接衣類に固定するか、磁石と併用することで、装着時の柔軟性を高めます。



モバイルデバイスとの併用

・ デバイスのポートに応じた適切なアダプターをレシーバーに装着し、スマートフォン・タブレット・PC 等のモバイルデバイスに接続します。接続したモバイルデバイスでレコーダーまたはカメラを起動し、録音を開始します。トランスミッターが収集した音声はモバイルデバイスに転送されます。



- ・ Saramonic アプリまたは他の録音アプリを起動して録音を開始します。アプリが対応している場合は、外部マイク (Saramonic Air) を選択してください。
- ・ 騒音環境下では、レシーバーの NC ボタンを 1 回または 2 回押してノイズキャンセル強度「強」と「弱」を切り替え、録音品質を向上させます。

ノイズキャンセルモードの推奨使用シナリオ:

強ノイズキャンセル: 商店街・スタジアム・地下鉄/鉄道駅・建設現場など高騒音環境の遮断に最適です。

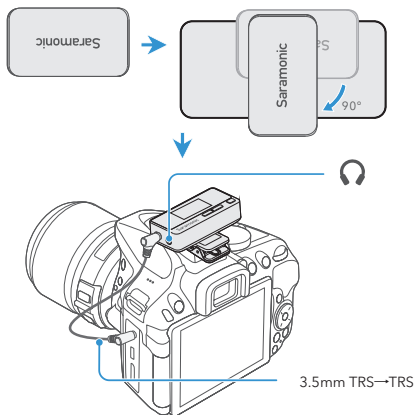
弱ノイズキャンセル: エアコン・扇風機・水流・プリンター動作音など軽微な騒音低減に適しています。

注意:

スマートフォンやタブレットなどにレシーバーを接続する際は、Saramonic アプリを使用した録音を推奨します。本アプリではトランスミッター/レシーバーのパラメータ設定およびファームウェアアップグレードが可能です。

カメラとの併用

レシーバーは下記 2 通りの方法でカメラに接続できます。接続後、トランスミッターが収集した音声は接続デバイスに送信されます。

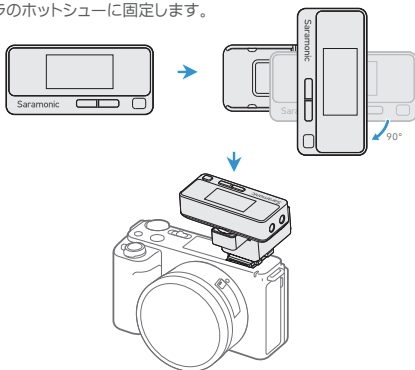


方法1:

レシーバー用ベルトクリップをレシーバーの接続用端子に取り付けます。付属の 3.5mm TRS-TRS ケーブルでレシーバーの 3.5mm オーディオ出力をカメラ・ミキサー等に接続します。

方法2:

接続用端子経由でレシーバーを (SR-CA) Saramonic カメラアダプターに装着し、アダプターをカメラのホットシューに固定します。



Saramonic アプリへの接続

レシーバーがスマートフォン・タブレット・PC 等に接続されている場合、Saramonic アプリ経由でトランスミッター/レシーバーの制御・録音/録画・アップグレードが可能です。

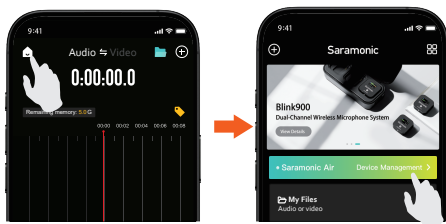
アプリではトランスミッター/レシーバーの関連パラメータ調整およびファームウェアアップグレードを実行できます。

注意:録音前に Saramonic アプリ経由でデバイスファームウェアを最新版にアップグレードし、最適性能を確保してください。

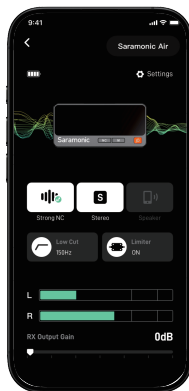
1.右記 QR コードをスキャンし、Saramonic アプリをダウンロード・インストールします。



2.左上のアイコン  をタップ後、「Saramonic Air Device Management」を選択すると、レシーバー(RX)、トランスミッター 1(TX1)、トランスミッター 2(TX2)の制御ページにアクセスできます。



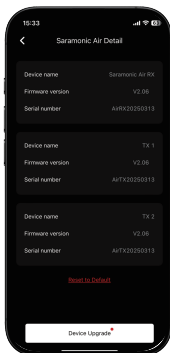
レシーバー制御：



画面を上にはスワイプすると TX1/TX2 制御画面に遷移します：



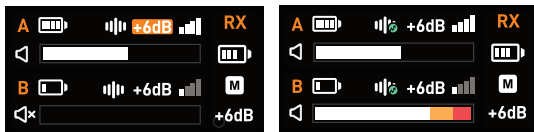
3.「Saramonic Air Detail」をタップすると、デバイス名・ファームウェアバージョン・シリアルナンバーを確認できます。本ページから「Reset to Default」の実行またはファームウェアのアップグレードも可能です。「Device Upgrade」横に赤丸が表示された場合は、優先的にアップグレードを完了してください。



レシーバーディスプレイ画面設定

レシーバーのディスプレイ画面はトランスミッターとレシーバーの両方の状態を表示します。製品アップデートが継続的に行われるため、画面表示は本取扱説明書の図版と若干異なる場合があります。実際のデバイスを参照してください。

ホーム画面概要



ホーム画面の A/B セクションはトランスミッター 1 (TX1)/トランスミッター 2 (TX2) の状態を表示します。

	トランスミッター 1 (TX1)/トランスミッター 2 (TX2) のバッテリー残量を示します。
	トランスミッター 1 (TX1)/トランスミッター 2 (TX2) が弱ノイズキャンセルレベルを有効にしたことを示します。
	トランスミッター 1 (TX1)/トランスミッター 2 (TX2) が強ノイズキャンセルレベルを有効にしたことを示します。
	マイクの入力音量レベルを示します。
	トランスミッター 1 (TX1)/トランスミッター 2 (TX2) とレシーバー間の現在の無線信号強度を示します。
	マイクのリアルタイム入力音量を表示します。 当該アイコン  が表示されている場合、マイクがミュート中であることを示します。

ホーム画面右側はレシーバー (RX) のデバイス情報を表示します。

	レシーバー (RX) のバッテリー残量を示します。
	レシーバーの出力モードを示します。アイコンは左から順にモノラル、ステレオ、セーフティトラックを表します。詳細は「メニューオプション説明」を参照してください。
	レシーバー (RX) の出力音量レベルを示します。

クイック設定: ディスプレイがホーム画面の状態では、ノイズキャンセルボタンを2秒間長押しすると、トランスミッター 1 (TX1) をミュートします。メニューボタンを2秒間長押しすると、トランスミッター 2 (TX2) をミュートします。電源ボタンを1回押すことで、トランスミッター 1 (TX1)、トランスミッター 2 (TX2) の入力ボリューム調整オプション、またはレシーバーの出力ボリュームを切り替え選択します。音量調整オプション選択後、メニューボタン1回押下で音量増加、ノイズキャンセルボタン1回押下で音量減少を行います。

メニューオプションナビゲーションボタン

ディスプレイがホーム画面の状態では、下記ボタンを使用してレシーバーのメニューを操作します:

メニューボタン:

- ・ホーム画面でメニューボタンを1回押すと、メニューオプション設定画面に入ります。
- ・メニューオプション設定画面でメニューボタンを1回押すと、メニューオプションを下位に移動します。2秒間長押しで設定を確定します。

ノイズキャンセルボタン:

ディスプレイがメニューオプション設定画面の状態では、ノイズキャンセルボタン1回押下でメニューオプションを上位に移動します。

電源ボタン:

メニューオプション設定画面で電源ボタンを1回押すと、前のオプションに戻ります。

メニューオプション説明

メニューオプション	サブメニュー	説明
出力モード	モノラル	左チャンネルと右チャンネルの信号が混合されます。
	ステレオ	左/右チャンネル出力はそれぞれトランスミッター 1 とトランスミッター 2 の音源に対応します。
	セーフティ	録音時のオーディオレベル過負荷を防止するため、右チャンネルの混合出力音量は左チャンネルより 6dB 低く設定されます。
スピーカー	オン	レシーバーがスマートフォン・タブレット等に接続時、アダプターを抜かずにデバイス内蔵スピーカーで音声再生可能です。本機能はデフォルトで有効です。
	オフ	レシーバー接続時、デバイス内蔵スピーカーでの音声再生はできません。 注意:スピーカー機能のオン/オフ切り替え時はレシーバーが自動再起動します。
リミッター	オン	歪みや過負荷を防止し安定出力を確保するため、オーディオ信号の最大音量を自動制限します。
	オフ	オーディオ信号を制限しません。 注意:リミッターのオン/オフ切り替え時はレシーバーが自動再起動します。
ローカット	150 Hz	エアコン作動音・車両走行音等の 150Hz 以下低周波ノイズを除去します。背景ノイズが顕著な環境でのクリアな音声収集に最適です。
	75 Hz	風切り音・機器動作音等の 75Hz 以下低周波ノイズを除去します。屋外環境での音声明瞭度向上と低周波干渉低減に適しています。

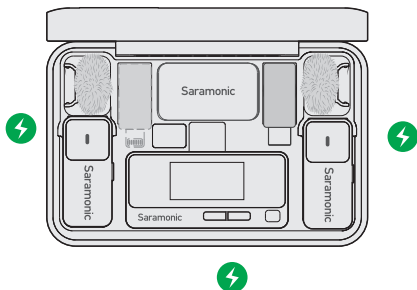
画面明るさ	-	「Brightness」メニューをクリックし、レシーバーディスプレイの明るさを 25%/50%/75%/100%から調整します。
バックライト	-	「Backlight」メニューをクリックし、ディスプレイ消灯時間を 10 分～常時点灯から選択します。
TX インジケータ	-	トランスミッターとレシーバーのペアリング成功後、トランスミッター状態インジケータの明るさを 25%/50%/75%/100%/消灯から調整可能です。トランスミッターとレシーバーがペアリングされていない場合、インジケータは通常通り動作ステータスを表示し、この設定の影響を受けません。
言語設定	-	「Language」メニューをクリックし、レシーバー表示言語を English/简体中文(簡体字中国語)/Русский язык(ロシア語)から設定します。
ペアリング中	-	「Pairing」メニューをクリックし、トランスミッターとレシーバーを接続します。接続成功時、トランスミッターの状態インジケータが青色で点灯します。
初期設定にリセット	-	「Reset to Default」メニューをクリックします。リセット後、レシーバーの全パラメータがデフォルト値に復元されます。
バージョン情報	-	「Version」メニューをクリックすると、レシーバーディスプレイにトランスミッター/レシーバーのファームウェアバージョン情報が表示されます。

収納方法

充電ケースにはトランスミッター 2 台・磁石 2 個・防風ウィンドスクリーン 2 個・アダプター 1 個・レシーバー 1 台・レシーバー用ベルトクリップ 1 個を収納可能です。使用後は図示の通り、各ユニットを充電ケースに収納してください。

注意:

アダプターとベルトクリップは専用スロットに収納後、軽く押し込み固定し、揺れを防止してください。



トラブルシューティング

動作に問題が発生した場合は、まず下記チェックリストを参照してください。問題が解決しない場合、販売店のアフターサービス部門へご連絡ください。

・トランスミッターとレシーバーのペアリングができない場合

トランスミッターとレシーバーの電源をオフにします。トランスミッターの電源ボタンを5秒以上長押しし、インジケーターが青色で速く点滅するまで保持します。

続いてレシーバーのメニュー画面で「pairing」を選択し、再ペアリングを実行します。

・動作範囲が制限される、音質が変化する、またはノイズが発生する場合

① 録音環境に高電力無線ルーターやデバイスからの干渉がないことを確認してください。

録音環境を変更できない場合は、最適な録音距離と角度を見つける必要があります。

② 2.4GHz 無線周波数の特性上、信号が減衰しやすいです。壁・建物などの障害物を避け、高電力 Wi-Fi アンテナ・ラジオ等の 2.4GHz 信号発生デバイスへの接近を回避してください。

③ レシーバーがデバイスに正しく接続されていることを確認してください。

・トランスミッターまたはレシーバーの電源が入らない場合

トランスミッター/レシーバーのバッテリーが完全放電した場合、または長期未使用の場合は充電してください。

・充電ケースがトランスミッター/レシーバーを充電できない場合

① 充電ケースの残量が少ない場合は、ケースを再充電後、再度試してください。

② 清潔な布でトランスミッター/レシーバーの充電接点およびケース内の充電ピンを拭ってください。汚れが付着していないことを確認してください。

③ 磁力不足で充電接点とピンが確実に接続されない場合は、Saramonic アフターサービスサポートにご連絡ください。

・レシーバーをアダプターに接続して使用すると、ハウリングノイズが発生します

レシーバーのタッチスクリーンでスマートフォンのスピーカーがオフになっていることを確認してください。

・レシーバーのモニター出力から音声再生がない場合

トランスミッターとレシーバーのペアリングが成功していること、およびレシーバーのスピーカーがオフになっていることを確認してください。

・カメラ・サウンドカード等からオーディオケーブルを抜くとレシーバーが自動電源オフする場合

レシーバーで「カメラ連動電源オン/オフ」機能が有効かどうかを確認してください。本機能有効時、接続デバイス(カメラ/サウンドカード等)の切断を検知するとレシーバーは自動的に電源オフします。

本機能は Saramonic アプリで無効化できます。この機能が無効化すると、レシーバーは接続デバイスから切断されても自動的に電源オフになりません。

仕様

トランスミッター (Saramonic Air TX)

伝送方式	2.4GHz デジタル周波数
伝送距離	最大 300m (障害物なし)
変調方式	GFSK
指向性	無指向性
アンテナ	PIFA
RF 出力電力	< 10 dBm
歪率	≤0.02 %
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
感度	-32 dB
基準オーディオ入力レベル	1.5 V
サンプリングレート	48 kHz
ビットレート	24 ビット
S/N 比	≥85 dB
最大入力音圧	120 dB
オーディオ入力	6mm 無指向性コンデンサーマイクカプセル
電源	内蔵リチウムイオンバッテリー
バッテリー容量	85mAh
連続稼働時間	10 時間
充電時間	約 1.5 時間 (5V/1A 時)
重量	11 g
外形寸法	36×16×13.2mm (縦×横×高さ)
動作温度	-10 ~ 50°C
保管温度	-10 ~ 50°C

レシーバー (Saramonic Air-RX)

伝送方式	2.4GHz デジタル周波数
伝送距離	最大 300m (障害物なし)
変調方式	GFSK
指向性	無指向性
アンテナ	FPC アンテナおよびモノポールアンテナ
RF 出力電力	< 10 dBm
歪率	≤0.02 %
周波数特性	20Hz～20kHz
S/N 比	≥85 dB
オーディオ出力	Lightning/USB-C/3.5mm TRS 出力。 3.5mm モニターポート
電源	内蔵リチウムイオンバッテリー
バッテリー容量	225mAh
連続稼働時間	画面点灯時：6.5 時間；画面消灯時：9.5 時間
充電時間	約 1.5 時間 (5V/1A 時)
重量	22 g
外形寸法	53×25×15.5mm (縦×横×高さ)
動作温度	-10～50℃
保管温度	-10～50℃

充電ケース (Saramonic Air-CC)

バッテリー種類	内蔵リチウムイオンバッテリー
バッテリー容量	1300 mAh
電源	USB-C ポート
充電時間	約 2.5 時間 (5V/2A 時)
充電サイクル回数	約 1.5 回 (TX2 台+RX1 台時)
重量	147 g
外形寸法	109.4×69.9×27.5mm (縦×横×高さ)
動作温度	-10～50℃
保管温度	-10～50℃



より良い録音体験のため、**Saramonic** アプリの使用を推奨します。



QR コードをスキャンし、チュートリアル動画にアクセス